

湯沢町観光振興計画

2022-2031

(令和4年度-令和13年度)

参考資料

2022年3月

湯沢町

目次

1. 湯沢町への交通アクセス	・・・2
2. 湯沢町の主な観光資源	・・・3
3. 町内の観光推進組織の構成	・・・5
4. 町内の地区別観光協会の主な取り組み内容	・・・6
5. 前湯沢町観光振興計画の検証	・・・7
6. 戦略ごとの参考事例	・・・18
7. 計画の策定体制とスケジュール	・・・26

1. 湯沢町への交通アクセス

交通アクセス

- ✓ 上越新幹線越後湯沢駅が町の中心部に立地し、東京から最短で約70分でアクセスすることができる。
- ✓ また、関越自動車道の開通により、苗場方面へも東京から約2時間ほどで到着する。
- ✓ 町内には越後湯沢駅のほか、上越新幹線のガーラ湯沢駅、JR上越線の岩原スキー場前駅、越後中里駅、土樽駅がある。その他、路線バス、タクシーが運行している。



出典：湯沢町観光まちづくり機構HP
<https://www.e-yuzawa.gr.jp/sys/access/>

● 車での所要時間

- ✓ 東京～月夜野間
約1時間25分（苗場まで35分）
- ✓ 東京～湯沢間（167km）
約1時間50分
- ✓ 新潟～湯沢間（131km）
約1時間30分
- ✓ 金沢～湯沢間（339km）
約4時間

● **上越新幹線での所要時間**

- ✓ 新潟から：約50分
- ✓ 東京から：約1時間10分

● **ほくほく線での所要時間**

- ✓ 金沢から：2時間30分

● 飛行機での所要時間

- ✓ 大阪から：145分

2. 湯沢町の主な観光資源

主な観光資源①

スキー・スノーボード



- ✓ 町内に全部で12のスキー場を有する（休業中の1施設を含む）。子供向けの雪遊びエリアやなだらかなワイドバーンを擁する初心者向けコースから、国際大会を行う上級者向けコースまで幅広い利用者が楽しめる多様なコースがそろっていることが魅力である。
- ✓ スキー場の多くが東京から2時間圏内とアクセスが良く、首都圏からの日帰りも可能である。
- ✓ 近年はそのアクセスの良さから、首都圏に滞在しているインバウンド客（特に台湾、中国、香港）からの需要が増加しており、雪の降らない国からのインバウンド客が初めてのスノー体験を湯沢町で楽しんでいる。

©苗場スキー場

温泉



- ✓ 越後湯沢温泉は、昭和6年の上越線開通に伴って本格的に掘削が始まり、現在の越後湯沢駅周辺の温泉街に繋がる基礎ができた。
- ✓ また、町中心地から車で20分ほどの場所にある貝掛温泉は、文献上は室町時代から続く歴史ある名湯として知られ、戦国時代は上杉謙信の隠れ湯として、江戸時代からは「目の温泉」として親しまれてきた。
- ✓ 町内にはその他にも「街道の湯」などの共同浴場や足湯施設がある。

自然資源・ 夏のアクティビティ



- ✓ 自然の森林を活用したアスレチックを楽しめる「フォレストアドベンチャー・湯沢中里」や、気軽に溪流釣りができる「湯沢フィッシングパーク」、「鱒止まり」、キャンプ、カヤック、SUP、グランピングなどが楽しめる「大源太キャニオン」など、主に家族連れが楽しめる施設が充実している。
- ✓ 苗場山や平標山は近年登山客からの人気が高まっている。スノーカントリートレイルやぐんま県境稜線トレイルに加え、2020年には信越トレイルも苗場山頂まで延伸された。
- ✓ 県の絶滅危惧種であるヒカリゴケの群生など貴重な植物もある。
- ✓ 一部のスキー場では、夏期でも人工の専用マットを敷いたサマーゲレンデを提供している他、湯沢高原アルプの里では高原植物が楽しめる。
- ✓ 苗場と田代の間を連絡する「ドラゴンドラ」は、ゴンドラとしては日本最長の5,481mを誇る。冬はゲレンデ間の連絡として使われているが、春は新緑、秋は紅葉のため営業しており、アップダウンを繰り返しながら迫力ある景色を堪能することができる。

2. 湯沢町の主な観光資源

主な観光資源②

イベント



- ✓ フジロックフェスティバルは、1999年以降苗場スキー場で毎年夏に開催される、日本最大級のロックフェスである。3日間で延べ13万人が訪れ、苗場エリアだけでなく町内全体で宿泊客の受け入れを行うなど、重要なイベントとなっている。
- ✓ 自然と音楽の共生をテーマに掲げており、苗場観光協会と行政（県・町）の協働により立ち上げた「フジロックの森プロジェクト」では、森づくりによる環境保全活動を行っている。
- ✓ その他のイベントとして、冬季は各スキー場でそれぞれテーマを設けた演出による創作花火「湯沢冬花火」が打ち上がる。

歴史・文化財



- ✓ 湯沢町歴史民俗資料館「雪国館」では、雪国湯沢の暮らしぶりや歴史を中心とした展示と、川端康成の小説「雪国」の世界を様々な展示で紹介している。
- ✓ 江戸時代に栄えた三国街道の三俣宿は、本陣と脇本陣三軒を合わせて「四軒（しけん）問屋」と呼ばれている。四軒のうち本陣は跡地しか残っておらず、江戸時代の建物として残存しているのは脇本陣・池田家のみである。格式の高い人が宿泊した「上段の間」など、貴重な建造物など見学することができる。新潟県指定文化財であり、平成30年（2018年）に町に寄贈されている。

https://www.e-yuzawa.gr.jp/sys/sightseeing_p/sightseeing_p-category/cultural/

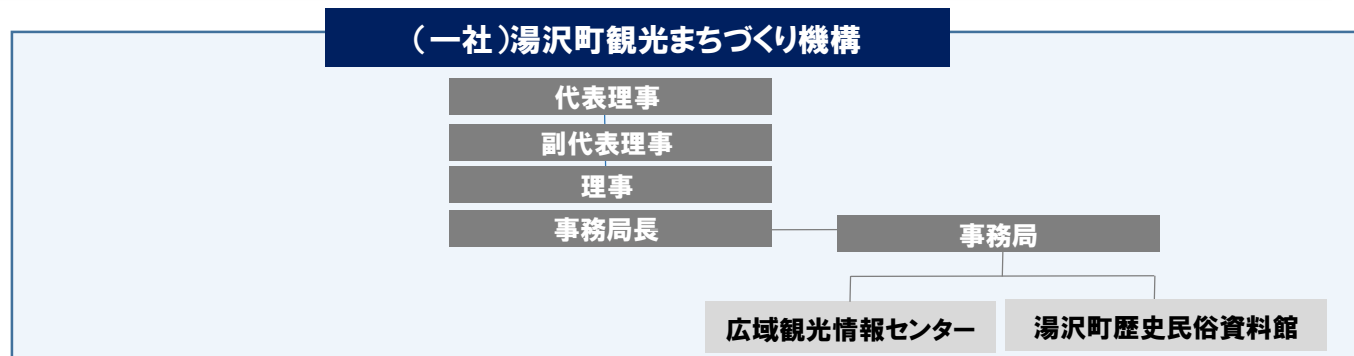
食文化・特産品



©雪国観光圏

- ✓ 雪国の知恵を活かした貯蔵や発酵を特徴とする食文化があり、町内を含めた雪国観光圏では「雪国ガストロノミーツアー」等を楽しむことができる。
- ✓ 越後湯沢駅構内にある「ぽんしゅ館」では、新潟県内全酒蔵の日本酒を揃えており、ワンコインで少量ずつ利き酒をすることができる。
- ✓ かぐら南蛮、ズッキーニ、キノコ類など、質の高い農産物を生産している。特に米は、周辺市町村と比較しても一等米比率が高く、品質において高評価を得ている。

3. 町内の観光推進組織の構成



エリア協議会

**湯沢町スキー場
振興協議会**

苗場かぐら観光協議会

湯沢つちたる観光協議会

湯沢・神立地区観光協議会

地区別の観光協会

苗場観光協会

岩原観光協会

田代・二居観光協会

中里観光協会

かぐら・みつまた観光協会

湯沢パーク観光協会

飯士高原・原観光協会

松川観光協会

土樽観光協会

大源太観光協会

(一社)越後湯沢温泉観光協会

総務委員会

企画事業委員会

宣伝委員会

会費検討委員会

旅館部会

観光商店部会

民宿部会

交通部会

料飲店部会

雪国観光舎旅行事業部会

観光施設連絡
協議会部会

湯沢温泉スキー場
連合部会

(一社)雪国観光圏(事務局)

神立観光協会

委託

地域連携DMO (一社)雪国観光圏

魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町、みなかみ町、栄村

雪国文化WG

スノーカントリートレイルWG

食文化WG

二次交通WG

観光協会連携WG

社会資本整備WG

※配置は上下関係ではありません
※2020年4月現在

4. 町内の地区別観光協会の主な取り組み内容

- ・ 食品衛生、リピーター対策、商品造成、フジロック、自然環境保全基金など、特徴的な取り組みも実施
- ・ 情報発信など重複している取り組みも多い

苗場かぐら観光協議会

苗場観光協会

会員数:73(宿泊62・飲食商店11)

- ・ 食品衛生
- ・ リフト券販売
- ・ イベント運営・協力（フジロック、ワールドカップ、展示会、全中などの公式戦）
- ・ プロモーション
- ・ 苗場食堂の運営
- ・ 情報発信（HP更新など）

田代・二居観光協会

会員数:13(宿泊12・飲食商店1)

- ・ 食品衛生
- ・ リフト券販売
- ・ 案内所運営
- ・ イベント運営（サマーゲレンデオープニング、田代紅葉まつり、神田スポーツ祭り、田代雪灯り、豚汁振る舞い）
- ・ パンフレット制作
- ・ 台湾人学生研修受入

かぐら・みつまた観光協会

会員数:29(宿泊26・飲食商店)

- ・ 食品衛生
- ・ 情報発信（HP、パンフ、ポスター等）
- ・ リフト券販売（サマーチケット、紅葉チケット含む）
- ・ イベント運営（雪灯り、かぐら感謝デー、神田キャンペーン、田代紅葉秋祭り等）
- ・ プレミアムステイポイントCP
- ・ 先進地視察

湯沢つちたる観光協議会

岩原観光協会

会員数:42(宿泊31・飲食商店11)

- ・ 食品衛生
- ・ リフト券販売
- ・ イベント運営（飯士登山祭、その他）
- ・ **自然環境保全基金**
（登山道の整備、野生動物保護等に活用）
- ・ 情報発信（HP更新）

中里観光協会

会員数:35(宿泊29・飲食商店5・他1)

- ・ 食品衛生
- ・ リフト券販売
- ・ イベント運営（ホテルのタベ、秋祭り、スノーカーニバル、カタクリの里）
- ・ 次世代研修事業
- ・ 先進地研修会
- ・ 情報発信（HP更新）

湯沢パーク観光協会

会員数:10(宿泊8・飲食商店2)

- ・ 食品衛生
- ・ おしるこの振る舞い
- ・ 親睦・研修旅行
- ・ 情報発信（HP更新）

飯士高原・原観光協会

松川観光協会

土樽観光協会

大源太観光協会

湯沢・神立地区観光協議会

(一社)越後湯沢温泉観光協会

会員数:167(宿泊57・飲食商店100・観光施設4、タクシー2、スキー連合会4)賛助会員18

- ・ 情報発信（イラストマップ、ツアーパンフ、HP）
- ・ イベント・キャンペーン（温泉夏祭り、こらっしゃい湯沢収穫祭、越後湯沢がらりはしご酒、冬季誘客イベント、ハッピーマイバースデーCP、越後湯沢温泉雪まつりなど）
- ・ プロモーション・セールス（インバウンドFAMトリップ（受託））
- ・ **手配・商品造成**（地元向け発地型ツアー催行と手配、発地・着地型手配旅行全般、NEXCOとの旅行取扱・ガイド派遣、砂防事務所とのインフラ・リズム連携商品、インバウンド向け定番モデルコース作成、すべりめぐり（宿泊パック、得々スキーパック、新ユータン券（地域通貨券）など）
- ・ 受入環境整備（両替事業、シャトルバス）
- ・ 案内所（雪国観光舎）
- ・ 事務局（雪国観光圏）
- ・ 研修（研修旅行、スキー連合会視察研修）

神立観光協会

湯沢町スキー場振興協議会

会員数:11(スキー場運営会社)

- ・ 町内共通リフト券の発行（町民向け共通乗車券、湯沢町共通1日券引換券、共通優待乗車券）
- ・ 湯沢町スキージュニア選手育成助成
- ・ 全中アルペンスキー大会広告協賛
- ・ 視察研修
- ・ リフト料金検討小委員会

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

●前計画の特徴

- 前計画は雪国観光圏の考え方を比較的踏襲し、雪国文化を重視して作成されている。
- スキーリゾートとしての記述や、観光振興を進める体制・仕組みの記述はほとんど見られない。

●前計画の活用状況・戦略の実施状況

- 計画に書かれている内容のハードルが高く実施できないものもあった。
- 地域文化の掘り起こしや活用、移住政策等については積極的に取り組みを行ったものの、食に関する取り組みが弱い。
- 観光推進組織の見直しは現在行っているが、役割分担や自立的な組織運営等のあり方は要検討。
- 後から見れば戦略に当てはまる取り組みを実施しているものの、戦略的に実施できているものがあまりない。
- 計画に基づき事業を立案する習慣があまりない。
- 計画では実施者が行政としか書いていなかったため、どの部署が取り組むかが見えづらい。
- 在籍している期間の取り組みは把握できるが、それ以前の取り組みがわからない。職員が数年で異動する行政においては、事業内容を毎年検証することは重要かもしれない。
- 事業を実施したが該当箇所がない(どこに入ればよいかわからないものも含む)ものもあった。
- 戦略ごとの取り組みを整理するとともに、各々の取り組みに対して定性での評価点を記入。(詳細は次ページ以降を参照)

●前湯沢町観光振興計画の成果指標と達成度

	現計画策定時	目標値 (2020年度)	実績値 (2018年度時点)
冬季以外の観光客入込数	1,501千人	1,650千人	1,566千人
冬季の観光客入込数	2,766千人	2,800千人	2,066千人
観光客におもてなしの心で接している町民の割合	48.5%	60%	45.8%
外国人観光客数	35千人	70千人	252千人

※実績値は「湯沢町総合計画（2021-2030）」より
<https://www.town.yuzawa.lg.jp/material/files/group/4/sougoukeikaku2021.pdf>

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

戦術	具体例	実施者				期間	10年間の取組実績	5段階評価※4			評価コメント
		行政	団体	事業者	町民		2013年度～2020年度にかけて実施した事業内容※1	行政	機構	観光圏	
基本戦略1：自然環境の保全と調和											
環境保全意識の醸成と保全活動	街並み景観整備	駅新幹線・高速道路・温泉街や商店街・エリアごとの景観形成など	◎	○	◎	◎	長期	【行政】 ・みつまた地区の街並みに合わせた道の駅を新築（建設課 2013年度） ・湯沢温泉通り歩行空間整備事業（県、町建設課 2018年度～2020年度） ・町民の財産として町有林の管理、CO2吸収量の増など環境保存や水源かん養を目的とした利用間伐等の森林整備の実施（環境農林課 2013年度～2020年度） ・油流出事故防止に向けた啓発活動（環境農林課 2013年度～2020年度） ・中山間地域等直接支払交付金：集落協定 4件（環境農林課 2013年度～2020年度） 交付金をの使途：有害鳥獣対策（藪刈り）、景観形成、作物の植栽、水路、農道の維持管理を行い、耕作放棄地の発生の予防 ・多面的機能支払交付金：集落協定 3件（環境農林課 2013年度～2020年度） 交付金の使途：水路・農道の維持管理、農村景観の向上（景観形成作物の植付け、農業用水路の多目的利用等を行い農地及び農村の保全管理） 【機構】 ・カタクリの里及びホテルの里の整備 ・飯士山ほか登山道整備及びイベントの開催（飯士登山祭） ・水芭蕉群生地及び苗場インディペンデンスボードウォークの整備 ・桜100選＆ブナ100選 ・湯沢町自然環境保全基金 ・フジロックの森プロジェクト	3	3	街並み景観整備、水源涵養と水質保全是行政として着実に進めている。森林資源保全と整備、農地の保全及び利用については、交付金の活用により行政及び関係機関で取り組んでいる。
	森林資源保全と整備及び利用	森林の整備と保全・森林資源や特産林産物などの地産地消の推進	◎	○	◎	◎	長期		3		
	水（温泉）源涵養と水質保全及び水（温泉）資源の利用	地下水利用のルール化による水（温泉）資源の保全・環境負荷の軽減のための水質保全・水を利用した地域活性化	◎	○	◎	◎	長期		3		
	農地の保全及び利用	農地の多面的機能強化の支援・耕作放棄地の利用による農業振興と地域活性化	◎	○	◎	○	長期		3		

※5段階評価については、目標像（四季を通じて、また訪れたいくなるまちづくり）を達成するための事業について、実施内容を評価。（事業の数・質を評価）

- 5：想定以上の事業を実施し、非常に高く評価出来る。
- 4：想定以上の事業を実施し、高い評価が出来る。
- 3：想定通りの事業は実施し、一定の評価が出来る。
- 2：想定していたほどの事業は実施できず、あまり評価できない。
- 1：事業を全く実施しておらず、評価できない。

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

戦術	具体例	実施者				期間	10年間の取組実績 2013年度～2020年度にかけて実施した事業内容※1	5段階評価※4			評価 コメント (現時点で行政のみ)	
		行政	団体	事業者	町民			行政	機構	観光圏		
基本戦略2：先人の知恵や地域文化の探求とブラッシュアップ												
地域の歴史文化の伝承	昔からの雪国の生活の伝承	雪室・芋穴・雪形・建物・囲炉裏・四季の仕事「雪囲・田植・稲刈り・藁仕事など」	○	○	◎	◎	長期	【行政】 ・歴史民俗資料館(雪国館)にて豪雪地域の暮らしを支える民具等の展示（教育課 2013年度～2016年度） 【機構】 ・「雪国館」において囲炉裏・四季の仕事「雪囲・田植・稲刈り・藁仕事など」の常設展示 ・雪室を有効活用した事業の開催（2020年度） ・たけのこイベント（苗場観光協会） ・山菜ツアー（越後湯沢温泉観光協会等） ・“方言を語る会”の定期開催 【観光圏】 ・雪国観光圏の季刊誌「雪と旅」における情報発信（雪国ならではの生活（囲炉裏、雪室、建物、四季の仕事）や文化、伝統を丁寧に取材し、編集）（2011年度～） ・雪国観光圏内の飲食店・農産物生産者・加工事業者・宿泊事業者で食のブランド化推進ワーキンググループを組織し勉強会を実施 ・雪国A級グルメ事業の実施 ・ガストロノミーツーリズムのプログラム構築	3	3	5	昔からの雪国生活の伝承については、雪国館の展示などを通じ取り組んでいる。食文化の伝承や方言の伝承については行政では特に取り組んでいない
	地域の食文化の伝承	発酵食品・保存食・漬物・祭事のときの料理・山菜料理・水・旬の食・地の物	○	○	◎	◎	長期		3	5		
	方言の伝承	調査と研究伝承・おもてなし用語としての活用・地域らしさの演出	○	○	○	◎	長期		3			

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

戦術		具体例	実施者				期間	10年間の取組実績	5段階評価※4			評価コメント (現時点で行政のみ)
			行政	団体	事業者	町民		2013年度～2020年度にかけて実施した事業内容※1	行政	機構	観光圏	
基本戦略2：先人の知恵や地域文化の探求とブラッシュアップ												
先人の知恵や地域文化の見直しと伝承	地域の歴史・文化の調査と研究	文化財の収集・町史の調査研究	◎	○	○	○	長期	【行政】 ・「湯沢の史跡と野仏」リスト作成（教育課 2013年度～2016年度） ・池田家町へ譲渡、県指定文化財「仁王像」にアクリル板設置、池田家の雪国アート回廊への加入（教育課 2013年度～2020年度） 【機構】 ・「雪国館」にて地域の歴史等に関連した資料の展示及び民俗資料の寄贈品の受入 ・池田家との連携事業の開催 ・川久保遺跡の再現展示の実施（2017年度） 【観光圏】 ・学芸員の方を中心としたワーキンググループを設置。「真白き世界に隠された知恵と出会う」というコンセプトのもと、ペルソナターゲット（40代女性管理職）の設定や雪国の知恵を感じられる商品づくり、ガイド研修（2014年～）	3	3	5	地域の歴史・文化の調査と研究、文化財の整理と保存については、行政が主体となり進めているが、雪国観光圏においても雪国の歴史等について積極的に取り組んでいる。
	文化財の整理と保存	遺跡等の保存・民俗文化財等の保存	◎	-	-	-	長期	3	3			
基本戦略3：地域資源の整備及び活用												
地域資源の調査・研究	地域の観光資源の調査・研究	広域的視野での観光資源の調査・研究	◎	◎	◎	○	長期	【行政】 ・新潟県観光消費額向上モデル事業にて観光資源等についてのアンケート調査を実施（ワーキングでの議論を経て、観光資源を活用した新コンテンツ開発等に繋げた。）（2020年度 県、町観光商工課） ・みつまた地域の調査を実施、マップを作成（2017年度 観光商工課） 【機構】 ・各エリアにおいて地域ごとの特性を生かしたイベント（夏まつり、収穫祭等）の開催 【観光圏】 ・観光地域づくりマネージャーによる「雪旅」（雪国の知恵を体感できる滞在プログラム）の認証事業（2013年度～）	3	3	5	地域資源の調査・研究については、町事業及び県事業の活用により実施した。引き続き、観光まちづくり機構や団体事業者と連携し取り組む必要がある。

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

戦術	具体例	実施者			期間	10年間の取組実績	5段階評価※4			評価 コメント (現時点で行政のみ)		
		行政	団体	事業者		町民	2013年度～2020年度にかけて実施した事業内容※1	行政	機構		観光圏	
基本戦略3：地域資源の整備及び活用												
地域の観光資源を利用した観光商品の開発と地域のブランド化	観光資源をエリアごとに整備・開発	河川や山等の自然・町の観光施設・インフラ・民間観光施設	◎	◎	◎	○	長期	【行政】 ・大源太キャニオン活性化検討ワーキング（湯沢砂防共催）開催。大源太川砂防堰堤の補強工事完了を契機として、大源太キャニオンとその周辺の自然環境を活かした観光施設等の利活用を検討（2018～2019年度 湯沢砂防、町観光商工課） ・魚沼川右岸遊歩道整備（遊歩道、駐車場、トイレ）（2018～2020年度） ・登山道の整備・河川への仮設トイレの設置（2013～2020年度）	3	3	エリアごとの観光資源の整備・開発については、関係者との検討や整備を実施した。地域のブランド化では、ブランドスローガンの制定、起業支援補助金創設、移住・定住施策推進により成果が出ている。6次産業化については、地場産農産物の直売所の設置、地産地消の取り組みを継続している。地域の食文化活用については、雪国観光圏で雪国ガストロノミーを推進している。温泉の活用については、外湯めぐり券の販売、他イベントでの入浴券の配布等を実施。	
	旅行商品開発	着地型旅行商品開発	-	○	◎	-	短期	・みつまた地域多言語看板整備事業（2019年度） ・道の駅みつまたオープン（2013年度 建設課） ・ブランドスローガンの制定、起業支援補助金創設、移住・定住施策推進（2014～2020年度 企画政策課） ・道の駅みつまた 地元産農産物直売エリア設置継続（2013～2020年度 環境農林課）		3		
	地域のブランド化	湯沢らしい独自の空間・地域と来訪者の交流促進・取組の継続と見直しと改善・一人一起業と一人一業	○	○	◎	○	長期	・湯沢学園の給食での湯沢産コシヒカリ100%利用継続（2013～2020年度 環境農林課） ・指定管理者による外湯めぐり券の販売（2013～2020年度 観光商工課、湯沢町総合管理公社） ・越後湯沢駅西口足湯設置（2019年度 建設課） ・秋桜マラソン参加賞として無料入浴券、旅館等500円入浴券を配布（2013～2019年度 実行委員会）	4			
	6次産業化	地場産農林産物の生産・直販所の整備・地産地消の確立・特産品開発・異業種との連携	○	-	◎	○	中期	【機構】 ・穴沢河川公園でのミズベリングイベントの開催（～2019年度） ・越後湯沢温泉観光協会において着地型旅行商品の開発 ・ネクスコ東日本湯沢管理事務所による首都圏イベントで魚沼エリアの地場食材の紹介及び提供（～2019年度） ・外湯5か所のパンフレット及びホームページ等への掲載	3			
	地域の食文化活用	朝ごはんプロジェクト・発酵食品・漬物・保存食・調理方法・伝統野菜	-	○	◎	○	長期	【観光圏】 ・食のブランド化推進ワーキンググループでの勉強会の実施。雪国観光圏内の飲食店・農産物生産者・加工事業者・宿泊事業者が参加。		3		5
	温泉の活用	外湯めぐりの提案・温泉療法調査と湯治	-	-	◎	-	長期		3	3		

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

戦術	具体例	実施者				期間	10年間の取組実績	5段階評価※4			評価コメント (現時点で行政のみ)	
		行政	団体	事業者	町民		2013年度～2020年度にかけて実施した事業内容※1	行政	機構	観光圏		
基本戦略4：広域観光の推進												
既存交通網の有効活用	地域ローカル鉄道の活用	ほくほく線・飯山線・上越線・雪国観光圏パス	◎	◎	◎	○	長期	【行政】 ・ほくほく線沿線地域連絡協議会による無料マガジンの発行及びWeb化、利用促進事業の実施（2013～2020年度 観光商工課） ※WEB版は2020年度～ ・スノーリゾート形成促進事業（形成ミーティング）で2次交通について検討。冬季シャトルバス利用者アンケート調査実施。複数事業者による中里方面及び石打丸山スキー場を含んだ4社シャトルバス運行実証事業実施。（2020年度 観光商工課、スキー事業者） ・湯沢版MaaS実証運行に向けた準備（地域活性化リーディングプロジェクト）（2020年度 県、町企画政策課、観光商工課） ・魚沼市、南魚沼市と自転車活用推進協議会を設立。広域サイクルルートの設定を目指す。（2020年度 教育課、建設課、観光商工課） ・上越市と南魚沼市を結ぶ広域観光の移動手段としての道路整備（2013～2020年度 建設課） ・町HP登山情報ページにて周知。登山道の整備及び道標の管理を実施。（2018～2020年度 観光商工課）	3	3	4	地域ローカル鉄道の活用については、沿線協議会で実施。二次交通の検討については、スノーリゾート形成促進事業で、利用者調査や複数事業者連携によるスキー場シャトルバス運行実証事業を実施。県・町共催で、2021年のMaaS実証運行に向けた準備を行った。魚沼市・南魚沼市と自転車活用推進協議会を設立し、広域サイクルルートの登録を目指している。雪国観光圏のスノーカントリートレイルがオープンし、行政では、HPでの周知や登山道の整備、道標の管理を実施している。
	二次交通の検討	地域バス・タクシー・自転車	○	○	◎	-	短期	3	3	3		
	高規格道路の整備促進	上越魚沼地域振興快速道路整備促進	◎	○	○	○	中期	【機構】 ・ほくほくマガジン等への観光情報の提供やほくほく線沿線協議会主催の大宮駅イベントへの出展（いずれも観光商工課と連携） ・駅から観光タクシ（タクシーによる周辺観光地巡り） ・雪国観光舎及び旅館での旅チャリ（電動自転車）の貸出 ・冬季における二次交通の整備検討（実証実験）（2020年度） ・広域観光情報センター等においてスノーカントリートレイルのステッカー販売	3			
	スノーカントリートレイルの活用と整備	雪国観光圏が推進しているトレイルの活用と整備	○	○	◎	-	中期	【観光圏】 ・二次交通ワーキンググループにて地域交通を利用した旅行商品について議論。（2015年度～2017年・度 現在休止中） ・JR東日本と連携し圏域内のバスと鉄道が乗り降りできる雪国観光バスを企画。（2010年度～2020年度 終了） ・スノーカントリートレイルワーキンググループを開催。（2015年度～2017年度） ・ハイカーサポートキャンペーンとプロモーションの実施。（2018年～）	3	3	5	

12

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

戦術	具体例	実施者				期間	10年間の取組実績 2013年度～2020年度にかけて実施した事業内容※1	5段階評価※4			評価 コメント (現時点で行政のみ)	
		行政	団体	事業者	町民			行政	機構	観光圏		
基本戦略4：広域観光の推進												
観光資源の連携	祭りやイベントの連携	スノーカントリーフェスティバル	○	◎	○	○	短期	【行政】 ・ディステーションキャンペーン（湯沢・魚沼エリア）、ほくほく沿線協（湯沢町・南魚沼市・十日町市・柏崎市・津南町・上越市）のマガジン等で食を紹介（2013～2020年度 観光商工課） ・DC、ほくほく線沿線協、雪国観光圏推進協議会等で近隣市町村と連携（2013～2020年度 観光商工課）		3	4	行政の広域での連携としては、雪国観光圏推進協議会やほくほく線沿線地域連絡協議会で、食の紹介や観光PR等を実施。
	食の連携	米・酒・そば・水・山菜きのこ・雪国の食文化	○	○	◎	-	中期	【機構】 各地区における祭りやイベント情報をホームページやVITA（観光情報ニュース）等にて発信 ネクスコ東日本湯沢管理事務所による首都圏イベントで魚沼エリアの地場食材の紹介及び提供（～2019年度） インバウンド連携事業（新潟県十日町市）（～2019年度） ネクスコ首都圏イベント（魚沼エリア5市町）（～2019年度） 首都圏イベント・イベント相互出展（秋田県湯沢市）（～2019年度） 新潟県観光協会のレストランミー事業（新潟ディステーションキャンペーン）（2019年度） 町内の案内所同士の意見交換（統合に向けた協議）（2020年度） 魚沼エリアの観光協会連携による台湾旅行博出展（2020年度）	3	3	4	
	人の連携	他の地域との交流・大地の芸術祭・異業種間交流・研修会や講演会	○	○	◎	-	中期		3	3	4	
	既存産業との連携	地域の特性を活かした雪国グルメ等の商品開発（1次産業×2次産業×3次産業＝6次産業）	○	○	◎	-	中期			3	4	
	観光施設の連携	観光案内所の標準化と連携・雪国観光圏通行手形	◎	◎	◎	-	中期	【観光圏】 季刊誌「雪と旅」における圏域内のイベントPR。（2008年度～） 食のブランド化推進ワーキンググループでの勉強会と雪国レストランミーの提案。（2014年度～） 7つのワーキンググループを主催し、行政、宿泊業者、飲食業者、交通事業者、文化財、国立公園、農泊、アウトドア、商工業等と連携。（2014年度～） 雪国A級グルメ事業の実施（2010年度～） 観光協会連携ワーキンググループ（2014年度～）や女性コーディネーター研究会（2016年度～）にて、圏域内の観光協会職員間の情報交換を実施。 ※雪国観光圏手形（2013年度～2016年度）は販売実績が伸びず現在は廃止		3	4	

13

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

戦術	具体例	実施者				期間	10年間の取組実績	5段階評価※4			評価コメント (現時点で行政のみ)
		行政	団体	事業者	町民		2013年度～2020年度にかけて実施した事業内容※1	行政	機構	観光圏	
基本戦略5：受入環境の整備											
誰もが安心安全に過ごせる地域づくり	障がいのある人や社会的弱者（誰も）が安心して過ごせる環境整備	◎	◎	◎	○	長期	【行政】 ・高齢者・障がい者向け住宅整備補助事業を実施（2013～2020年度 福祉介護課） ・居宅介護（介護予防）住宅改修費の給付（介護保険）（2013～2020年度 福祉介護課）	3			365日24時間の医療体制を確保するなど取り組んでいる。地域の助け合い活動のしくみづくりや、社協によるボランティアセンターの運営をしている。湯沢学園では、観光ボランティアガイドの育成は終了したが、中学生が観光PR学習に取り組み、湯沢の魅力の情報発信を行っている。多言語看板の設置や外国語対応ができる地域おこし協力隊の活用により、観光案内やSNS情報発信を行うなど、力を入れて取り組んでいる。事業者による冬季シャトルバスの共同運行の実施や、行政によるMaaS運行に向けての準備など、着実に進めている。
	地域のホスピタリーの醸成	○	○	◎	○	中期	・町立湯沢病院では、お客様が安心して来訪できる観光地として、365日24時間の医療体制を確保。（2013～2020年度 健康増進課、公益社団法人 地域医療振興協会） ・生活支援体制整備事業（2015～2020年度 福祉介護課、健康増進課、社会福祉法人 湯沢町社会福祉協議会） ・湯沢学園観光ボランティアガイドの育成（2013～2015年度 湯沢学園） ・湯沢中観光PR学習 観光の町湯沢をSNS発信（2020年度 湯沢学園）	3	3		
	観光案内所の充実と体制強化	-	◎	◎	-	中期	・外国語対応可能な地域おこし協力隊を活用し、観光案内や情報発信を実施（2017～2020年度 観光商工課） ・みつまた地域多言語看板の設置（2019年度 観光商工課） ・冬季シャトルバス利用者アンケート調査実施（2020年度 観光商工課） ・湯沢版MaaS実証運行に向けた準備（2020年度 県、町企画政策課、観光商工課） ・秋桜マラソン大会 関係団体や町内会等の協力によるボランティア体制を確立（2013～2019年度 観光商工課）	3	3		
	外国人受入体制と多言語案内ツールの充実	◎	◎	◎	-	短期		3	3		
	高速無線通信網のエリア整備	-	-	◎	-	中期			3		
	地域内移動手段の検討	○	○	◎	-	中期		3	3		
	ボランティア受入体制の整備	-	◎	◎	○	長期		3	3		

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

戦術	具体例	実施者	期間	10年間の取組実績	5段階評価※4	評価コメント	
				2013年度～2020年度にかけて実施した事業内容※1	行政	機構	観光圏
基本戦略6：情報発信の強化と支援							
情報発信の内容	旅行商品	着地型旅行商品	- ◎ ◎ -	短期	【行政】 ・地域おこし協力隊による雪国の文化やイベント等のSNS発信（2017～2020年度 観光商工課） ・みつまた歴史・自然・お散歩マップ制作（2017年度 観光商工課） ・ほくほく線沿線地域連絡協議会の無料マガジン及びWebで紹介（2013～2020年度 観光商工課） ・町ホームページでの登山情報の発信（2013～2020年度 観光商工課）	3 4	情報発信については、観光まちづくり機構や雪国観光圏などが中心となって行っているが更新頻度は少ない。地域おこし協力隊の活用などにより、更にタイムリーな情報発信に力を入れてほしい。行政では、町ホームページでの登山情報の掲載や、ほくほく線沿線地域連絡協議会等の無料マガジンやWebでの情報発信を継続している。
	歴史文化	雪国・北越雪譜・上布縮、おめし・火焰土器・宿場・川上四郎・石川雲蝶	○ ◎ ◎ ○	短期	・みつまた歴史・自然・お散歩マップ制作（2017年度 観光商工課） ・ほくほく線沿線地域連絡協議会の無料マガジン及びWebで紹介（2013～2020年度 観光商工課） ・町ホームページでの登山情報の発信（2013～2020年度 観光商工課）	3 3 5	
	祭りやイベント	各地の夏祭り、雪祭り・婿投げ、裸押し合い・大地の芸術祭・フジロック	○ ◎ ◎ ○	短期	【機構】 ・越後湯沢温泉観光協会において町内及び近隣市町村の着地型旅行商品の造成・販売 ・湯沢町歴史民俗資料館「雪国館」にて小説『雪国』、川上四郎、石川雲蝶に関する特別展の実施及び講演会等の開催 ・ホームページでの情報発信の他、VITA「観光情報ニュース」においてシーズン別のイベント情報の発信（VITA掲載は2020年度まで）	3 3	
	食	米・酒・そば・水・旬の野菜等・菓子・発酵食品	- ○ ◎ ○	短期	【観光圏】 ・HPや季刊誌「雪と旅」にて圏域内の地域資源を題材にした着地型旅行商品の販促を実施（2011年度～）	3 3	
	特産品	地域の織物・からいすけ・米・酒・水・旬の採りたて野菜・菓子・発酵食品	- ○ ◎ ○	短期		3 3	
	旬の情報	花・紅葉・雪・季節・自然景観	○ ◎ ◎ -	短期		3 3	
	観光施設情報	スキー場・中央公園・外湯・ロープウェー・宿泊施設等・ミュージアム	○ ◎ ◎ -	短期		3 3	
	交通アクセス	首都圏から至近・首都圏空港や新潟空港から至近・交通アクセスのよさ	○ ◎ ◎ -	短期		3	

15

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

戦術	具体例	実施者				期間	10年間の取組実績	5段階評価※4			評価コメント (現時点で行政のみ)	
		行政	団体	事業者	町民		2013年度～2020年度にかけて実施した事業内容※1	行政	機構	観光圏		
基本戦略6：情報発信の強化と支援												
メディアや関係団体等への情報発信	広告宣伝	テレビ、新聞等の広告宣伝・交通関連広告	-	◎	◎	-	短期	【行政】 ・新聞、雑誌、テレビの取材協力、ラジオでの観光PR等の実施（2013～2020年度 観光商工課） ・新聞社やテレビ局へのプレスリリース（2013～2020年度 観光商工課） ・町・事業者との合同記者発表の実施（2020年度 観光商工課） ・マンションオーナーに対し、固定資産税納税通知に町内施設で利用できる優待券を同封（2013～2020年度 観光商工課） ・広報ゆざわ、病院だよりをマンションへ送付（2013～2020年度 企画政策課） ・埼玉県松伏町、秋田県湯沢市、豊島区とは友好関係の中、観光情報提供を行うとともに、共同PRや湯沢町への送客事業を実施。（2013～2020年度 各課） ・観光宣伝関係のPRイベントには旧湯沢町観光協会が主体となり参加。定住促進事業として湯沢町の魅力をPR（2013～2020年度 企画政策課、観光商工課）	3	3		メディア等への情報発信は、行政としても積極的に行っているが、広告宣伝も含め観光まちづくり機構が中心となり行っている。ホームページの改修や各種デジタル化によるパンフレット等紙媒体の削減についても検討していく必要がある。
	プレスリリース等によるパブリシティ活動	プレスリリースの発行及びメディアへのアプローチ	◎	◎	○	-	短期		3	3		
	マスコミ等招聘・訪問	メディアキャラバン、プレスツアー	○	◎	◎	-	短期			3		
	地縁者等への情報等リリース	マンション等オーナーに対する情報提供・新潟県人会等の活用	◎	○	◎	-	短期		3			
	関係団体への情報等リリース	友好交流都市・県、県観光協会・JR・NEXTCO	◎	◎	-	-	短期		3	3		
	パンフレット、ポスターの作成	総合パンフレットとホームページの統合・広告枠有料化	-	◎	◎	-	短期	【機構】 ・季節別に企画事業をはじめとした媒体への出稿など ・県政記者クラブ等への情報提供の実施 ・首都圏メディアキャラバンの実施 ・新潟県観光協会の観光情報発信ホームページへの情報提供及び商談会等への参加 ・秋田県湯沢市や埼玉県松伏町との連携事業 ・地区観光協会統合に合わせ、総合パンフレット及びホームページについて議論			3	
	PRイベント参加	媒体や団体等が主催するイベントに参加	-	◎	○	-	短期	・JR東日本、新潟県観光協会等が主催する首都圏物産イベント等においてパンフレット配布他観光プロモーションの実施	3	3		

5. 前湯沢町観光振興計画の検証

戦術	具体例	実施者				期間	10年間の取組実績	5段階評価※4	評価コメント	
		行政	団体	事業者	町民		2013年度～2020年度にかけて実施した事業内容※1	行政	機構	観光圏
基本戦略6：情報発信の強化と支援										
ICTによる情報発信	ホームページ	◎	◎	○	-	短期	【行政】 ・町公式webサイトのリニューアル（トップページに「観光情報」の入り口を設定）（2019年度 企画政策課） ・移住・定住ポータルサイトの構築（2016年度） ・湯沢町公式Facebook、秋桜マラソン大会facebook（2013～2020年度 企画政策課、観光商工課） ・Instagram 湯沢中観光PR学習 観光の町湯沢をSNS発信（2020年度 湯沢学園）	4	3	行政では、町公式Webサイトのリニューアル、移住・定住ポータルサイトの構築を実施。 Facebookでの情報発信を継続している。観光情報についての情報発信は、観光まちづくり機構が中心となっていて行っている
	Twitter（ツイッター）	○	◎	○	-	短期	【機構】 ・ホームページのリニューアル及びアプリ開発に向けた検討 ・その他SNSについては職員が定期的に情報発信		3	
	Facebook（フェイスブック）	イベント告知・顧客の獲得と情報発信	○	◎	○	-	短期		3	

6. 戦略ごとの参考事例(戦略1:湯沢町も広域も！オールシーズン楽しめる仕組みづくり)

町内の取り組み事例

①雪国魚沼Golden Cycle Routeの取り組み

(湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会)

- ✓ 湯沢町、南魚沼市、魚沼市の3市町を結ぶ全長約185キロの広域サイクリングルート「雪国魚沼Golden Cycle Route」として命名。新潟県で初となるサイクルツーリズムの推進モデルルートに設定されている。ンビニや観光施設などに、自転車ラックを設置したり、トイレや空気入れを貸すサービスを行う「サイクルステーション」の整備も進んでおり、令和3年までに約40か所が整備される予定。

②スノーカントリートレイル（雪国観光圏推進協議会）、信越トレイル（NPO法人信越トレイルクラブ）の取り組み

- ✓ 2018年にオープンしたスノーカントリートレイルは雪国観光圏の3県7市町村をつなぐ、全長約307キロのロングトレイル。山岳路や歴史ある古道を歩みながら、20か所の温泉を巡るようにルートが設定されているのが特徴。
- ✓ 信越トレイルは2008年に関田山脈エリアから運用が開始し、2021年9月には苗場山まで延伸。2018年の開通10周年を機に一人当たり1,000円の整備協力金を仰ぎ、道標や看板の購入、環境保全の啓発活動、整備の人件費等に充てることで、自然環境の適切な維持管理を行っている。



©雪国観光圏

他地域の取り組み事例

【参考】グリーンシーズンの魅力づくり(長野県白馬村)

- ✓ 2020年7月23日、白馬駅から徒歩5分ほどの場所に体験型複合施設「Snow Peak LAND STATION HAKUBA」を開業。施設内には、白馬村観光局のインフォメーションセンター、スターバックス、「Restaurant 雪峰」、Snow Peakの直営店、地元産品の販売等が入る。隈研吾氏設計の建物の前には芝生が広がり、週末にはキャンピングイベントやマルシェなどが開催される。また敷地内には同氏と共同開発したモバイルハウス「住箱」やテントが配置され宿泊も可能。高速バスや特急バスも停車する。
- ✓ 地元の事業者や生産者、飲食店などと連携し、サイクリングや食文化を楽しむ様々なプログラムを企画・提供している。
- ✓ その他、白馬村では「HAKUBA MOUNTAIN HARBOR」（岩岳）や「HAKUBA MOUNTAIN BEACH」（八方尾根うさぎ平）、「Snow Peak FIELD SUITE HAKUBA KITAONE KOGEN」（北尾根高原）など、グリーンシーズンに楽しめるエリアが相次いでオープンしている。



6. 戦略ごとの参考事例(戦略2:世界を見据えた国際競争力の高いスノーリゾートづくり)

町内の取り組み事例

①湯沢町スノーリゾート形成計画「スノーエントリー層に世界一やさしい、多様な山の楽しみ方があふれる身近なスノーリゾートYUZAWA」による取り組み(湯沢町観光まちづくり機構)

- ✓ 観光庁では、今後インバウンド需要を取り込む意欲・ポテンシャルの高いスノーリゾートを対象とした補助事業として「国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業」を実施しており、湯沢町は2020年度、2021年度に採択されている。2020年度は、町内を巡るスキー場シャトルバスの実証実験のほか、各スキー場におけるWi-Fi整備やキャッシュレス決済端末の導入等を進めた。

②YUZAWA ELEVEN TICKET(湯沢町共通リフト券)の発売開始(湯沢町スキー場振興協議会・湯沢町観光まちづくり機構)

- ✓ 長年の課題であった各スキー場を巡ることができる共通リフト券の販売を2021-22シーズンに開始した。利用開始日より3日間有効で、各スキー場でリフト1日券との引換が可能。(引換は1スキー場につき1回限り。最大11スキー場が各1回利用できる。)
- ✓ 利用期間: 2021年12月25日から2022年3月21日までの連続する3日間
- ✓ 販売価格: 15,000円(12月24日までは初登場の特別価格として12,000円で販売)
- ✓ 利用条件: 1か所目のスキー場にてリフト1日券を受領した日から連続する3日間に限り有効。リフト1日券への引換は1スキー場につき1回に限り可能。(期間中に同一スキー場を複数回利用することは不可)

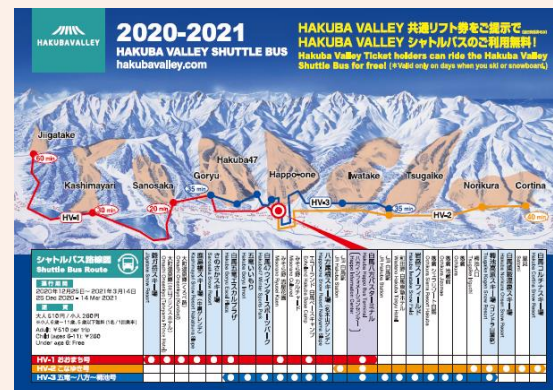


https://www.e-yuzawa.gr.jp/cp_winter2021/

他地域の取り組み事例

【参考】Hakuba Valleyの取り組み(長野県白馬村)

- ✓ 白馬村、小谷村、大町市をまたがるHakuba Valleyでは、2016-17シーズンから10スキー場の共通システムを導入し、うち9スキー場(白馬さのさか、エイブル白馬五竜、Hakuba47、白馬八方尾根、白馬岩岳、柵池高原、白馬乗鞍、白馬コルチナ、鹿島槍)では共通自動改札システムが導入された。各スキー場のエリアリフト券を販売するほか、“HAKUBA VALLEYチケット”(スキー場共通券)を購入したお客様はチケットの有効期限内であればHAKUBA VALLEY内の10のスキー場を一つのスキー場として、窓口には並ぶことなく直接リフトに乗車可能。また、共通リフト券を提示すると利用当日はシャトルバスが無料で乗車できる。
- ✓ ワールドクラスのスノーリゾートアライアンスEpic PassとHAKUBA VALLEYの提携が2018-2019シーズンよりスタート。
- ✓ Hakuba Valley Tourism(地域連携DMO)では、HAKUBA VALLEYエリア景観デザインコード計画の策定や、利用者の安全上の注意事項を示した「HAKUBA VALLEY Safety Tips」を作成。



<https://www.hakubavalley.com/ja/>

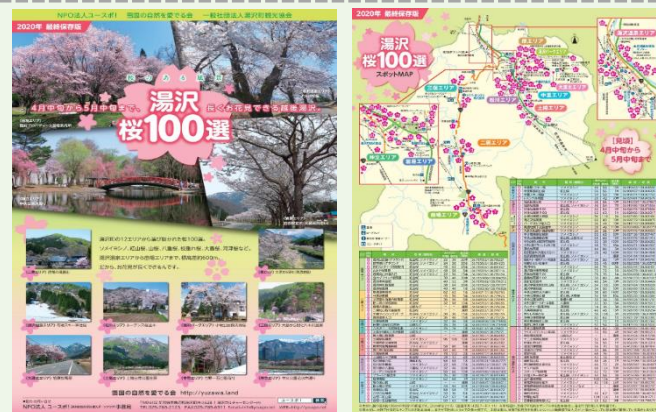
6. 戦略ごとの参考事例(戦略3:居心地の良い景観・街並みの整備)

町内の取り組み事例

①湯沢桜100選 (NPO法人ユースポ!・雪国の自然を愛でる会・湯沢町観光協会)

- ✓ 湯沢町は、湯沢温泉エリアから苗場エリアまで標高差600mという地形から、4月中旬～5月中旬まで長く桜を楽しむことができる。NPO法人ユースポ!・雪国の自然を愛でる会・湯沢町観光協会の3団体は、町内12のエリアから「湯沢桜100選」を選定し、品種や本数をマップにまとめ発信している。
- ✓ また、作成したマップを片手に桜のスポットを巡るウォーキングやサイクリング等のイベントも開催している。
- ✓ 桜以外にも「湯沢ブナ100選」も公開している。

<http://yuzawa.land/>



他地域の取り組み事例

【参考】草津町の景観まちづくり(群馬県草津町)

- ✓ 草津町は、平成21年12月に群馬県内9番目の景観行政団体となったが、まず住民の景観まちづくりに対する参加意識の醸成を図りながら、住民がつくったルールを法に基づく景観計画に位置付けるという町独自のアプローチを選択。平成22年から3年間にわたり温泉街5つ（湯畑、西の河原、滝下通り、中央通り、地蔵）の地区住民による街なみづくりの約束事について検討が行われ、まちづくりに対する思いを込めた「景観まちづくり協定」を締結。そして、この思いを未来に引き継ぐため、法に基づく景観計画がとりまとめられ、平成26年10月1日から景観まちづくり条例として施行。
- ✓ 景観づくりの理念としては、1. 温泉文化と街なみの歴史の継承と発展、2. 自然が引き立つ景観の形成、3. そぞろ歩きの楽しいにぎわいの空間づくり、4. 「町民参加」から「町民主体」のまちづくりへの4点を掲げ、「街なみガイドライン」に基づき景観整備が進められている。



【参考】道後温泉での旅館の建て替え(愛媛県松山市)

- ✓ 道後温泉では、昭和45年から55年ごろに建てた旅館が多く、耐震化できていないことに加え、個人客への対応が課題になっていた。そこで、耐震改修促進法（平成7年施行）に基づき、補助金を活用しながら旅館の建て替え工事を順次進め、耐震化のみならず個人客に対応した宿泊施設の集積エリアへと生まれ変わっている。
- ✓ この他、道後温泉では新たな共同浴場（飛鳥乃湯泉）の開設や道後温泉本館の改修、道路の拡幅などを行い、街並み整備を進めている。



6. 戦略ごとの参考事例(戦略4:利用者目線での受け入れ環境整備)

町内の取り組み事例

①湯沢モビリティパスユーモ実証実験2021年7月-9月 (新潟県・湯沢町・湯沢町観光まちづくり機構)

- ✓ 令和3年7月から9月にかけて、バスとタクシーを組み合わせたMaaS(※)の実証実験を行った。既存の路線バスに加え、越後湯沢駅と岩原トランジットセンターを拠点としたシャトルバスを2路線運行したほか、タクシーの定額サービスを試行的に行った。

①バス乗車券(乗り放題):2日券500円、5日券1000円、1か月券3000円

②定額タクシー券:1週間券3000円、1か月券8000円

- ✓ ユーモを提示することで町内の一部店舗・施設で割引サービスが受けられる。

※MaaS=Mobility as a Service。複数のモビリティ(移動手段)を一つのサービスに統合して利便性の良い交通サービスを提供する仕組みのこと。



https://twitter.com/yuzawa_hd/status/1412315974166925315

他地域の取り組み事例

【参考】由布院の取り組み(大分県由布市)

- ✓ 由布市では、由布院駅前に由布市ツーリストインフォメーションセンターを開設。世界的な建築家である坂茂氏の設計で、内部には由布市まちづくり観光局の事務所が入る他、インフォメーション機能(観光案内、辻馬車やレンタサイクルなどの申し込み)、手荷物預かりと宿への荷物配送(ゆふいんチッキ)の窓口がある。また、2階には旅行・観光や由布市関連の書籍が並ぶ「旅の図書館」を配置している。
- ✓ 2020年9月には由布院の雰囲気になじむ、環境負荷の小さい二次交通の手段として9人乗りの電気自動車「nolc」を試験的に運行。由布院に暮らす人にも、由布院を訪れる人にも快適な「未来の乗り物」や「未来の交通システム」の実現へ向けて挑戦する「アシタのアシプロジェクト」を進めている。



【参考】飯山駅観光交流センターの運営(長野県飯山市)

- ✓ (一社)信州いいやま観光局は、飯山駅観光案内所、信越自然郷アクティビティセンター、パノラマテラス(カフェ)を飯山駅内で運営。
- ✓ 飯山市のみならず9市町村の広域観光情報の発信を行う他、飯山ふるさと案内人の手配、観光タクシーの手配、ツアーの紹介や手配、レンタサイクル、アウトドアウェアの販売なども行っている。



6. 戦略ごとの参考事例(戦略5:町内外が一体となっておこなう自然環境の保全)

町内の取り組み事例

①「湯沢町自然環境保全基金」の取り組み

- ✓ 湯沢町自然環境保全基金は、ステッカー等の販売利益を持続可能な観光や環境整備のための活動に充てるため、各地区観光協会が中心となり立ち上げられた。
- ✓ 1口300円で、1口につきステッカー1枚と交換できる。「ステッカー1枚で草刈り3㎡」、「10枚で小案内板1枚」、「100枚で木道の整備20メートル」など、金額に応じた使途を明記することで、来訪者からより賛同を得られるよう工夫している。
- ✓ 現在、湯沢町内において、「飯士山・山と水の恵みプロジェクト」(岩原地区)、「ミズバショウ群生保全プロジェクト」(苗場地区)、「ホタル・カタクリの里プロジェクト」(中里地区)の3つのプロジェクトが始動している。

<https://yuzawancf.wixsite.com/website/%E6%B9%AF%E6%B2%A2%E7%94%BA%E8%87%AA%E7%84%B6%E7%92%B0%E5%A2%83%E4%BF%9D%E5%85%A8%E5%9F%BA%E9%87%91%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6>



②「フジロックの森プロジェクト」の取り組み

- ✓ 世界的な音楽イベントである「フジロックフェスティバル」の開催地である湯沢町は森林の割合が9割を超える。森林の機能や役割を認識した上で森づくりによる環境保全を図るため、湯沢町、新潟県、フジロックフェスティバル主催者である株式会社スマッシュが中心となって2011年に「フジロックの森」プロジェクト推進協議会を設立した。
- ✓ 本プロジェクトでは、フジロック会場周辺における植樹等により森づくり活動をするとともに、森と親しむエリアを整備し、一年を通じて人が集まる新たな交流観光の拠点づくりを目指している。
- ✓ 具体的な取り組みとしては、地元の間伐材を活用した紙製品「フジロックペーパー」等の製造、車椅子での散策を可能にする木道「ボードウォーク」の整備、フジロック会場周辺の森林で伐採した間伐材を使った「オリジナル割り箸」づくり(フジロック・苗場食堂で使用)などがある。



<https://www.e-yuzawa.gr.jp/sys/>

6. 戦略ごとの参考事例(戦略6:観光産業の構造改革・生産性の向上)

他地域の取り組み事例

【参考】地区内の宿泊施設をめぐるAIバスの運行とセントラルキッチンの実証実験(三重県鳥羽市)

- ✓ 三重県鳥羽市相模地区は鳥羽駅から約30分の距離にあり、地区内や他地区への移動がしづらいという課題がある。また、人手不足により宿泊施設による鳥羽駅までの送迎も負担がかかっている。
- ✓ 2020年12月15日(火)～2021年3月13日(土)には三重県、REVICと連携して「二次交通対策を目的とした地域共同交通の構築・運営」の実証実験を実施。ドコモのシステムを活用しており、スマホアプリで乗りたい時に配車予約をすることができる。
- ✓ また、同時期に実施した「泊食分離を目的としたセントラルダイニングの構築・運営」では、宿泊施設の経営の効率化を図りつつ、地区ならではの「食」を提供するため、同地区のシンボルである海女小屋を活用し、外部から招聘したシェフによる「海女ふれんち」を提供した。



https://www.osatsu.org/img/model/AI%20bus%20guide_1214.pdf

【参考】宿泊業の生産性向上に向けた取り組み(観光庁)

- ✓ 観光庁では、宿泊業の生産性向上をめざし、コンサルティングやワークショップ開催等の取り組みを通じて、業務効率や付加価値向上に繋がる生産性向上のモデル事例を創出。

CASE1 マーケティング

CASE2 人時生産性の向上

CASE3 シフト改善、中抜け勤務の解消・見直し

CASE4 業務改善、マニュアル化・マネジメントの徹底

CASE5 人材育成・定着化

CASE6 IT化・機械化・道具化

CASE7 5S・3定、レイアウト改善による効率化

CASE8 水光熱費の削減

などテーマ別にモデル事例を掲載した「宿泊業の生産性向上事例集」(2016年度、2018年度、2019年度)や動画を作成し、広く公表している。



<http://www.shukuhaku-kaizen.com/>

6. 戦略ごとの参考事例(戦略7:“戦略的な”情報発信と内外プロモーションの実施)

町内の取り組み事例

①世界基準の認証制度(サクラクオリティ)の導入と効果的なプロモーション(雪国観光圏)

- ✓ 雪国観光圏では、プロモーションを行う前に受け入れ体制の整備が先であると考え、まずは宿泊施設の品質を海外の基準に準じたものにするため、認証制度「サクラクオリティ」を導入した。
- ✓ 事業者が自主的に品質改善に取り組むようにするため、参加はあくまで任意としている。品質を評価する詳細な基準を示すことで、インバウンド受入体制の課題が明確になり、地域全体の事業者のレベルが上がるほか、観光圏が参加事業者を一覧にしてプロモーションするため、個々の事業者の費用負担も軽減する。

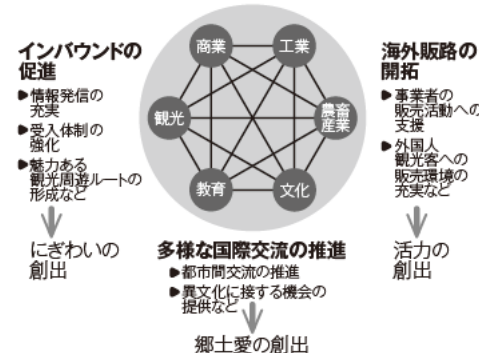
他地域の取り組み事例

【参考】高山市における戦略的なプロモーションの実施(岐阜県高山市)

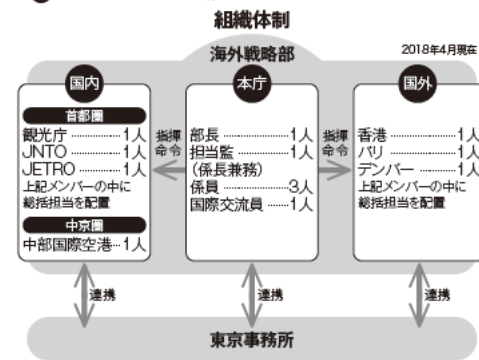
- ✓ 高山市では、多様な国から多くの外国人観光客が訪れていることで知られているが、外国人観光客は入込観光客の約2割を占めている。高山市の海外とのつながりは1960年にアメリカ・コロラド州のデンバーと姉妹都市を締結したことが始まりであり、その後、1986年に国際観光都市宣言を実施し、1987年に国際交流を推進する飛騨高山国際協会が設立された。
- ✓ 高山市では民間企業がインバウンド政策に尽力していることも特徴であり、「飛騨高山国際誘客協議会」を立ち上げ、事業負担金を持ち寄って観光誘客に取り組んでいる。さらに2011年には市役所内に海外戦略室を設置。官民協働で取り組む体制が整備されている。
- ✓ 高山市のプロモーションは物産と観光をあわせて取り組んでいることが特徴であるとともに、これらを戦略的に発信していくため、ターゲットとする地域(香港、パリ、デンバー等)や組織(JNTO、中部国際空港、観光庁など)に職員を派遣し、現地での誘客や商品の販路開拓などを行う取り組みを継続的に続けている。

図① 高山市(行政)における海外戦略部のわらい(江尻氏の発表資料より)

海外に向けた施策を総合的に推進するため
2011年4月に海外戦略室(現:海外戦略部)を設置



図② 高山市(行政)における組織体制(江尻氏の発表資料より)



(公財) 日本交通公社 機関誌「観光文化」240号 第13回たびとよCafé
 世界を魅了する飛騨高山のインバウンド戦略 ～独自の取り組み「戦略派遣」の展開～
<https://www.jtb.or.jp/wp-content/uploads/2019/01/bunka240-14.pdf>

6. 戦略ごとの参考事例(戦略8:効果的な観光振興を進める上での基盤整備)

他地域の取り組み事例

【参考】eVisitor:Croatian national tourist information system(クロアチア)

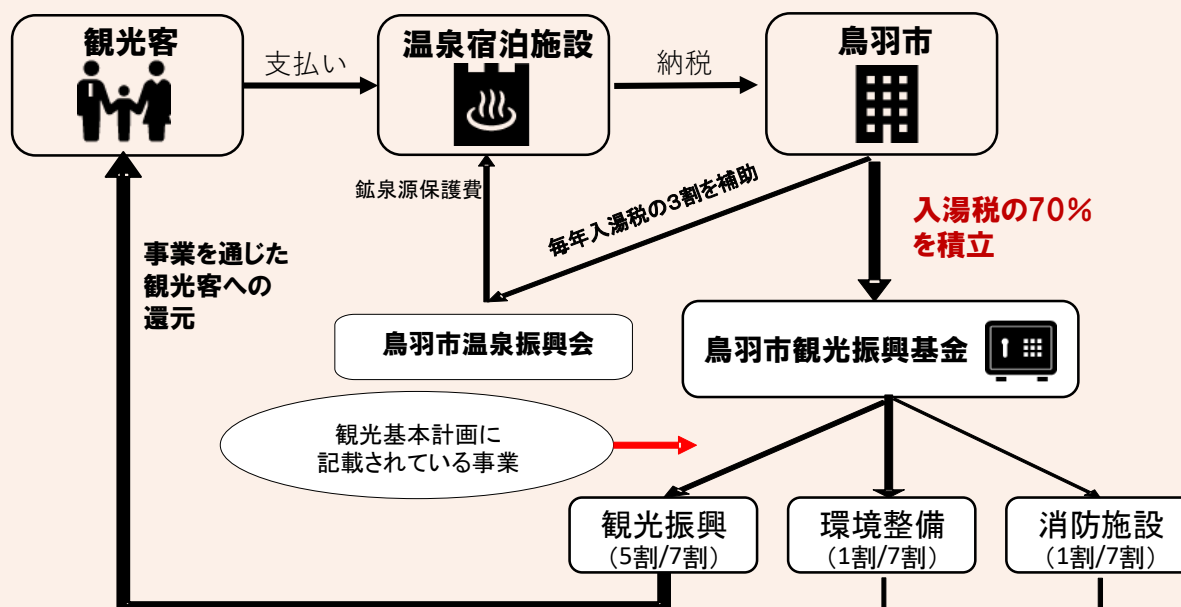
- ✓ クロアチアでは、e-visitorというシステム利用が義務化されており、20万施設が登録。宿泊施設は24時間以内に宿泊者の情報を入力することが求められる。入力と同時にstay tax（滞在税（市税））の詳細計算が即時に行われる。（1泊1ユーロ程度。25%の付加価値税は別。場所や季節、年齢（子供）によって税額は異なる。）宿泊者データは警察にも共有される。
- ✓ ホテルは2回/1ヶ月、小さい施設は3回/年程度各地域（県）の指定銀行に滞在税を納付。滞在税は地域の政府観光局に集まった後、様々な機関に配分される。一部は地域の政府観光局へ、1%は赤十字へ、地域へは客数に応じて配分される。
- ✓ 宿泊施設へは、e-visitorからレポート（過去の宿泊者数に関する情報、最近の宿泊者数の客層や他の宿泊地等に関する内容）が毎朝メールで送信される。



eVisitor - Croatian national tourist information system, Croatian National Tourism Board, Croatia
https://www.youtube.com/watch?v=IJgd_m_Hjl

【参考】入湯税の基金化による観光財源の確保(三重県鳥羽市)

- ✓ 三重県鳥羽市では、入湯税の税収の30%を鳥羽市温泉振興会に補助金として出し、残りの70%を鳥羽市観光振興基金として積立。そのうちの50%を観光振興費に充てている。
- ✓ コロナ禍の中、2020年4月1日から鳥羽市民限定宿泊キャンペーンを実施。先着1,000名で市内宿泊施設に泊まると宿泊代金が1人あたり5,000円引き（離島の場合は6,000円引き）になる制度で、1週間で完売した。



7. 計画の策定体制とスケジュール

湯沢町観光振興計画策定委員会 構成員

氏名	所属・役職	備考
梅川 智也 (委員長)	國學院大学 研究開発推進機構・地域マネジメント研究センター 兼 新学部設置準備室 教授	
岡 淳朗	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構 代表理事	湯沢つちたる観光協議会
小沢 貞春	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構 副代表理事	苗場かぐら観光協議会
小林 秀雄	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構 副代表理事	湯沢・神立地区観光協議会
柳 隆夫	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構 副代表理事 (湯沢町スキー場振興協議会 代理 高村 嘉一郎)	
関 拓真	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構 副代表理事	湯沢町商工会
千代 達彦	越後湯沢駅駅長	交通事業者
高橋 幸一	(一財) 湯沢町総管理公社 代表理事	
南雲 純子	(株)コラボル 代表取締役	有識者

湯沢町観光振興計画策定作業部会 構成員

氏名	所属・役職	備考
佐藤 博之	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構理事	苗場かぐら観光協議会
田村 恭平	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構理事	湯沢つちたる観光協議会
田村 恵一	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構理事	湯沢・神立観光協議会
半沢 則行	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構理事	湯沢町スキー場振興協議会
高村 嘉一郎	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構理事	湯沢町スキー場振興協議会
上田 哲雄	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構理事	湯沢町商工会
野口 敦子	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構理事	湯沢町商工会
今村 将哉	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構理事	農業関係者
井ノ川 一郎	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構理事	交通事業者
関 誠	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構理事	交通事業者

7. 計画の策定体制とスケジュール

湯沢町観光振興計画策定 事務局

氏名	所属・役職
南雲 剛	湯沢町産業観光部 部長
南雲 愛子	湯沢町産業観光部 観光商工課 係長
笛田 利広	湯沢町産業観光部 観光商工課 主任
立川 龍太郎	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構 事務局長
大口 尚親	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構 販売戦略部門マネージャー
貝瀬 健太	(一社) 湯沢町観光まちづくり機構 総務企画部門マネージャー
福永 香織	(公財) 日本交通公社 観光政策研究部 主任研究員
工藤 亜稀	(公財) 日本交通公社 観光政策研究部 研究員

7. 計画の策定体制とスケジュール

✓ 計画の策定にあたっては、4回の委員会と2回の作業部会を実施。

